

## 丹後地域戦略会議（令和4年度第1回）開催結果について

- ▶ **日時** 令和4年11月4日（金） 午前10時～午前11時45分
- ▶ **場所** KISSUIEN Stay & Food 羽衣の間
- ▶ **出席者** 丹後地域戦略会議委員；8名（谷口座長、今井委員、沖田委員、京崎委員、塩野委員、味田委員、安田委員、山口委員）  
京都府丹後広域振興局；平井局長、上原副局長、水嶋地域連携・推進部長ほか  
市町；宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町各企画担当課長
- ▶ **概要** 丹後地域振興計画(最終案)について、地域連携・振興部長から説明後、各委員から意見聴取

### ▶ 主な意見

#### ○産業・観光

- ・ 将来世代の活躍や事業環境の整備等のため、ネット環境やDX化に対応できるインフラ整備が必要
- ・ 山陰海岸ジオパークのエリアを一つの経済圏として捉え、インフラ整備等に活用していくことが必要
- ・ 観光客が戻りつつある中、観光業での人手不足が深刻化しており、最低賃金の上昇もあり経営を圧迫している。
- ・ 若者の起業や企業の新しい取組へのチャレンジを支援することが必要
- ・ 織物業は国内需要が減少する中、海外展開を見据えた取組も必要
- ・ 経ヶ岬灯台の文化財登録を受けた観光振興等のため、丹後半島を周遊できる交通手段の確保が必要
- ・ 観光と暮らしという視点で、丹後ならではのものを創造していくことが必要

#### ○子育て・医療

- ・ 子育て環境日本一に向けた取組として、男性育休の取得促進が必要
- ・ 子育て世代が活躍してもらうためには、多様な働き方ができるようにすることも必要
- ・ 働きながら子育てしやすい環境のためには、病児保育の充実が必要
- ・ 医療供給体制の充実に向けては、北部医療センターを地域の中核病院として位置づけることが必要

#### ○文化・人権・人材

- ・ コロナ禍で祭の継承が難しくなっており、継承のための支援が必要
- ・ 祭に代表されるように、地域に誇りが持てるようにする取組が必要
- ・ 外国人や働きづらさ・生きづらさをを感じている人への配慮も必要
- ・ 地域で暮らしながら、地域を変えられる人材の育成が必要

#### ○その他

- ・ 計画の実行においては市町との連携が必要
- ・ 地域の様々な動きや情報をキャッチして、タイムリーに取組を進めること